平成29年度一般会計予算賛否討論

賛成討論

府中市議会市民フォーラム

平成29年度予算は、選択と集中の指向をより一層明確にし、政策会議で選択された施策への財源の重点配分を行うなど、きめ細やかな予算編成が行われたものと確信している。

予算の特徴の一つであるくらしの「安定」とまちへの「愛着」に関する施策については、インフラ整備や防犯対策など、子どもから高齢者まで安全・安心のまちづくりを進めるものと評価する。

高野市長が掲げる三つのテーマの実現と、第6次府中市総合計画前期基本計画の完結に向けて、更なる力強い市政運営を願い、本予算に賛成する。

府中市議会市政会

平成29年度予算は、重点プロジェクトに位置付けられている府中駅南口再開発事業や新学校給食センター等の大規模事業の完成に向け、投資的経費の大幅な増加が見込まれることから、過去最大となった。

そのような中、待機児童の解消策や放課後子ども教室の実施日数の拡大、全ての交通安全灯や防犯灯等のLED化など、新たな取組にチャレンジする施策であり、素晴らしい考えであると評価する。

そのため、29年度は、市民ニーズを的確に捉えた施策を多く展開した予算編成であると確信し、本予算に賛成する。

反対討論

生活者ネットワーク

平成29年度予算は、第6次府中市総合計画前期基本計画の最終年度であることから、経費削減として行財政改革の仕上げなどが求められた結果と言える。

一方で、市の独自施策である指定疾病者福祉手当について、一人当たりの受給額が減額されているが、当事者への影響を補うための体制づくりが予算審議の中で明確ではなかった。

また、教育においては、スクールソーシャルワーカーの家庭と学校をつなぐ役割はますます大きくなると考えるが、個別対応を減らし、学校中心の対応となる勤務内容の再考を求める。

以上のことから、本予算に反対する。

日本共産党府中市議団

平成29年度予算は、事業の完了を迎える府中駅南口再開発事業や新学校給食センターに対する投資的経費の増加により、過去最大の1046億円となったが、一方で、原則無料だった公共施設にある駐車施設の使用料を有料化することは、利用者の負担増などにつながるため、使用料値上げの中止を求める。

また、入学準備金の支給時期については、ランドセルなどの購入により多額な費用が掛かる入学前に支給すべきと考える。

市民の暮らしを守る住民福祉の増進を図るものとなっていないため、市民生活最優先の市政に転換することを求めて、本予算に反対する。

予算特別委員会

（2・3面）

平成29年度一般会計歳入歳出予算の審査状況から、主なものをお知らせします。

歳　入

ふるさと納税　寄付額の主な充当事業は

委員　市では、ふるさと納税を平成28年9月から本格実施したと聞くが、寄付額の推移について聞きたい。

また、28年度における寄付額の主な充当事業は。

政策課長補佐　寄付額について、ふるさと納税実施前は、個人の方からの寄付額として26年度が61万5千円、27年度は564万6千円で、実施後の28年度は460万円となっている。なお、29年度については、600万円と見込んでいる。

また、主な充当事業については、第6次府中市総合計画の基本目標である健康・福祉分野や都市基盤・産業分野など、各分野の重点プロジェクトに選定している事業を予定しており、今後、関係課と調整しながら決定したいと考えている。

防犯設備整備事業補助金　市及び商店街等の補助率は

委員　商店街への防犯カメラ設置は、犯罪抑止効果があるなど大変重要と思うが、防犯カメラの整備に対する防犯設備整備事業補助金の内容について聞きたい。

また、市や商店街等の補助率は。

地域安全対策課長　同補助金は、新規の防犯カメラを設置する商店街に対し、都が支援するもので、防犯対策の向上を図ることを目的としている。

また、補助率については、都、市、商店街ともに3分の1負担であるが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、地域の安全対策の強化を図るため、平成29年度から31年度までは都が2分の1、市が3分の1、商店街が6分の1とし、都の補助率を引き上げると聞いている。

歳　出

オリンピック等の開催に向けた取組は

委員　市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ2019の開催に向けて、キャンプ地誘致をはじめとした様々な準備を進めているが、平成29年度においては、どのようなビジョンを持って取り組んでいく考えか聞きたい。

オリンピック・パラリンピック等推進担当主幹　2つの大会を契機にまちの発展へとつなげていきたいと考えており、具体的な取組として、市民桜まつりで行われるフラッグツアーやパラリンピアン等を招いたイベントを開催するなど、市民の方に多く参加いただきながら、大会機運の醸成に努めていきたいと考えている。

▲市民桜まつりで開催されたフラッグツアー

府中出身の川崎平右衛門　記念事業の内容は

委員　市では、府中出身の江戸時代の代官として、様々な事業の功績を残した川崎平右衛門の没後250年を迎えるに当たり、記念事業を実施すると聞くが、事業の内容とPR方法について聞きたい。

ふるさと文化財課長補佐　事業の内容について、平成29年5月に府中の森芸術劇場で川崎平右衛門を題材とした合唱構成劇や大学教授による歴史講演会などのイベントを開催する予定である。

ふるさと文化財課長　事業のPRについては、市広報やホームページ、小・中学校などに周知するとともに、マスコミ等へ広く働きかけていきたいと思っている。

まちづくり会社が行う収益事業の内容は

委員　中心市街地にぎわい創出事業とまちづくり会社が行う収益事業の内容について聞きたい。

中心市街地活性化担当副参事　にぎわい創出事業については、未利用市有地や歩道等を活用したにぎわい創出に係る実証実験のほか、競馬場来場者を中心市街地に呼び込むための検討を行う委託料となっている。

また、収益事業については、これまで、まちづくり会社の設立準備会で、駐車場の共同駐車券事業やイベントの実施に向けた共同販促事業等を検討してきたが、今後は、検討結果を踏まえ、まちづくり会社が実施すべき事業の選択を行っていくものと考えている。

障害者（児）支援ファイルの事業内容は

委員　平成29年度より新たに実施される障害者（児）支援ファイル事業の内容について聞きたい。

障害者福祉課長補佐　支援ファイルは、障がいや発達に不安のある方を対象としており、本人の身体的な状況に関すること、発育や発達といった成長に関することのほか、周囲に配慮してほしいことなどを記録していくものである。

本人のライフステージの変化に伴い、関係機関や担当者が変わっていくことから、関係機関に対して情報を的確に伝えていくためにも、このファイルを活用していくことで、継続した支援が期待できるものと考えている。